



GENE TECHNO SCIENCE

Mothers
証券コード:4584

株式会社ジーンテクノサイエンス

2020年3月期 第1四半期
決算補足説明資料

2019年8月5日



注意事項

この資料は株式会社ジーンテクノサイエンス（以下、当社という）をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

この資料に含まれている今後の戦略・計画、将来の見通し及びその他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。そのため、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な要因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。



2020年3月期 第1四半期 業績・事業ハイライト

2020年3月期 第1四半期業績・連結

◆ 2020年3月期 第1四半期業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

	売上高 (百万円)	販売費及び一般管理費 合計	内 研究開発費	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
連結 2020年3月期 4月～6月実績 (A)	283	416	(234)	△209	△211	△6,147	△222.40
(参考) 2020年3月期 業績予想値	1,050		1,200	△1,220	△1,260	△7,260	

主なポイント

- フィルグラスチムバイオシミラーは、計画どおりの売上高を達成
- 開発進捗に伴うマイルストーン収益含む

- 研究開発費は主にバイオシミラー事業の推進に支出

- のれんの一括償却に係る減損損失5,938百万円計上（特別損失）

2020年3月期 第1四半期業績・個別（参考数値）

◆ 2020年3月期 第1四半期業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

	売上高 (百万円)	販売費及び一般管理費 合計	内 研究開発費	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期 純利益 (百万円)
ジーンテクノサイエンス 2020年3月期 4月～6月実績 (A)	250	391	(225)	△207	△209	△6,144
2019年3月期 4月～6月実績 (B)	273	251	(141)	△55	△62	△108
(参考) 増減額 (A - B)	△23	139	(84)	△152	△146	△6,035
セルテクノロジー 2020年3月期 4月～6月実績	33	25	(9)	△1	△1	△2

主なポイント

- 連結上ののれん減損に伴う、個別上での関係会社株式評価損5,938百万円計上（特別損失）

※個別の数値については、四半期レビューの対象外です。

特別損失の計上

◆2019年4月に連結子会社化した(株)セルテクノロジーに係る
のれんの減損損失 **約60億円** 計上（1Qで一括償却）

将来の企業価値向上に向けた必要かつ重要な**研究開発投資**

GTS3.0

再生医療事業の推進

課題

細胞治療プラットフォームの確立

研究用リソースの確保

提携先の拡大

細胞培養技術の獲得

自社で課題解決をするには
時間、人、費用が掛かる

セルテクノロジー買収

課題解決

歯髄幹細胞バンク
細胞培養技術

GTS+セルテクノロジー

再生医療
事業推進

課題解決に要する研究開発期間・人材確保をセルテクノロジーの買収で即時クリア（＝研究開発投資）
GTSのノウハウと掛け合わせることで買収額以上の価値創出を目指す

ORTHOREBIRTH(株)と共同研究開発契約を締結

<口唇口蓋裂の治療法創出を目指す>

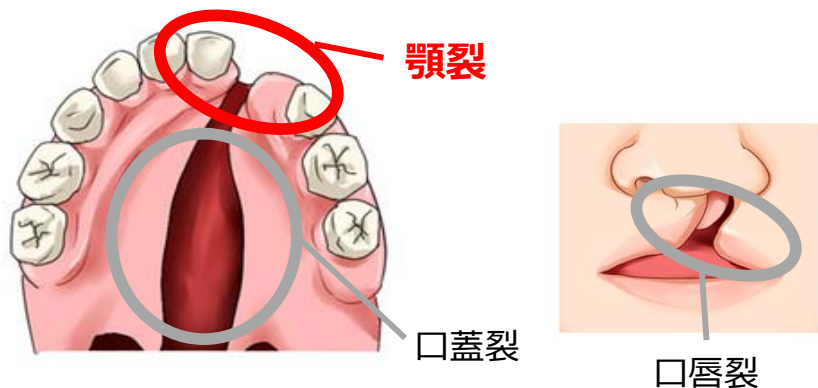
- SHED（乳歯髄幹細胞）とReBOSSIS（人工骨充填材）を組み合わせることで顎裂治療薬を開発
 - ・ 口唇口蓋裂は神経堤細胞の異常が原因であり、同じ神経堤細胞が起源である歯髄幹細胞は**最適な細胞ソース**
 - ・ 綿状の人工骨充填材であるReBOSSISは、その特性上、歯髄幹細胞と相性がよく、**高い骨再生能力が見込める**
 - ・ ポイントは、非侵襲性・就学前治療・低コストでの治療

<対象疾患例と治療法イメージ>

唇顎裂（年間約1000人）

- ・ 鼻汁の逆流
- ・ 咀嚼障害
- ・ 発声障害

治療法は自己骨移植で、侵襲性が高い










唇顎裂患者に足場材と幹細胞を混合投与し、より良い骨再生を促す





研究開発パイプライン

① バイオシミラー

開発番号	対象疾患	開発研究	臨床試験（治験）		申請・審査 承認・上市	提携先
			第1相	第3相		
GBS-001 フィルグラスチム	がん					富士製薬工業(株) 持田製薬(株)
GBS-004 ペバシズマブ	がん					
GBS-005 アダリムマブ	免疫疾患					長春長生生物科技有限责任公司との提携解消 に向けて交渉中 導出活動中
GBS-007 ラニズマブ	眼疾患					千寿製薬(株) Ocumension Therapeuticsへ導出（中国 及び台湾）
GBS-008 パリビズマブ	感染症					
GBS-010 ペグフィルグラスチム	がん					
GBS-011 ダルベポエチンアルファ	腎疾患					(株)三和化学研究所

② バイオ新薬

開発番号	対象疾患	基礎研究	開発研究	臨床試験（治験）			申請・審査承認・上市	提携先
				第1相	第2相	第3相		
GND-001 抗ヒトα9インテグリン抗体	免疫疾患、がん							科研製薬(株)
GND-004 抗RAMP2抗体	眼科疾患、がん							導出活動中
GND-007	免疫疾患							

③ 新規バイオ事業（再生医療/細胞治療）

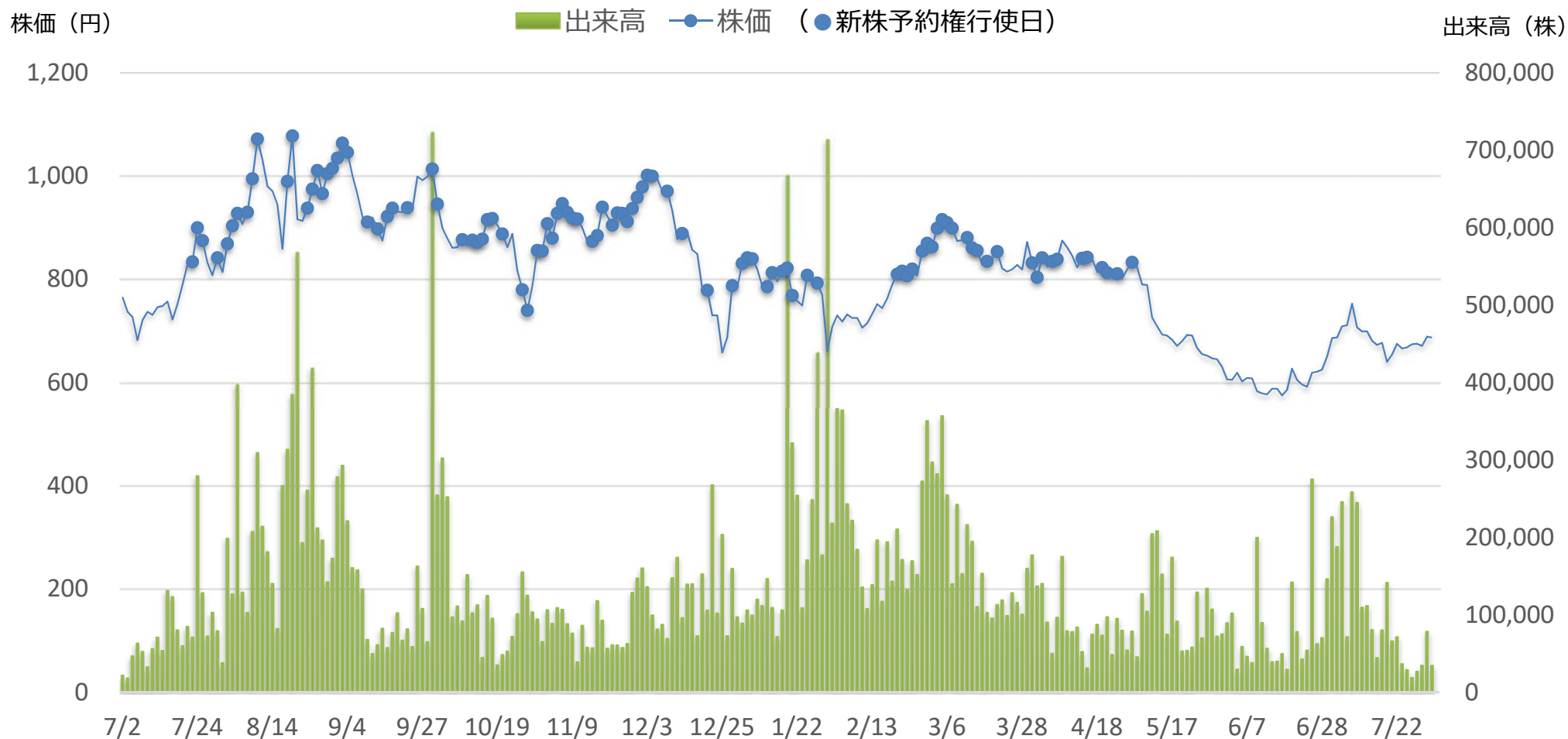
開発番号	対象疾患	基礎研究	臨床試験（治験）	条件・期限付き承認※	市販 (市販後に有効性、更なる安全性を検証)	承認	継続して販売	共同研究企業・大学等
GCT-101 顎裂治療薬	口唇口蓋裂							オルソリバーズ(株)
JRM-001 心臓内幹細胞	心機能の改善							(株)日本再生医療
免疫寛容誘導	自己免疫疾患 臓器移植、アレルギー							順天堂大学 (株)JUNTEN BIO
骨髄間葉系幹細胞	糖尿病性腎症							札幌医科大学 (株)ミネルヴァメディカ

※再生医療等製品の早期実用化に対応した承認制度
患者にリスクを説明・同意を得て、先行して使用し、市販後の安全対策を講じる。



資金調達

資金調達状況（2019年7月末まで）



7月末までの累計行使個数	6,282個	1,256,400株	(行使比率41.88%)
残数	8,718個	1,743,600株	
合計払込金額		1,015,921,140円	

株式会社ジーンテクノサイエンス



バイオで価値を創造するエンジニアリングカンパニー